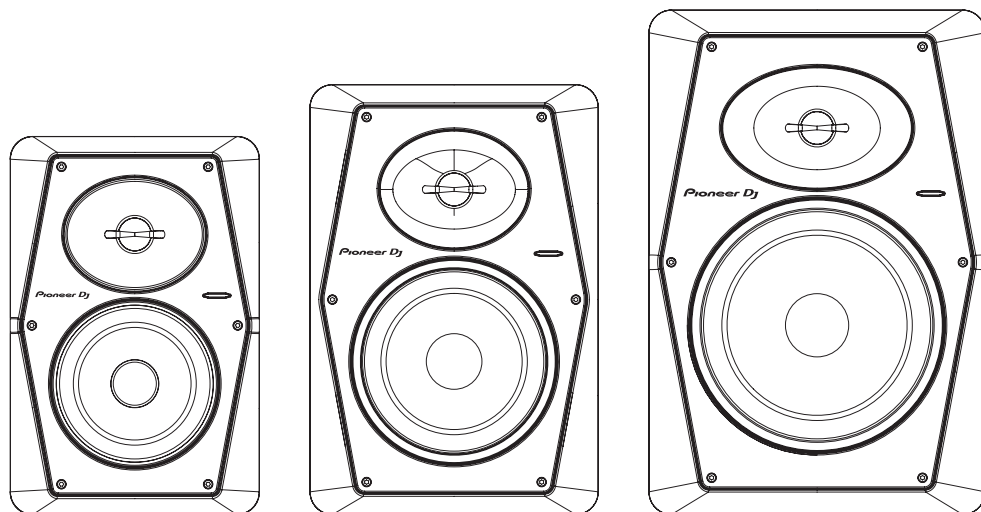




VM-50 / VM-50-W / VM-70 / VM-80

アクティブモニタースピーカー

pioneerdj.com/support/

上記のサイトで、本製品のFAQなどのサポート情報をご覧ください。

商品相談・修理受付・付属品購入窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

Pioneer Dj

はじめに

本機の特長

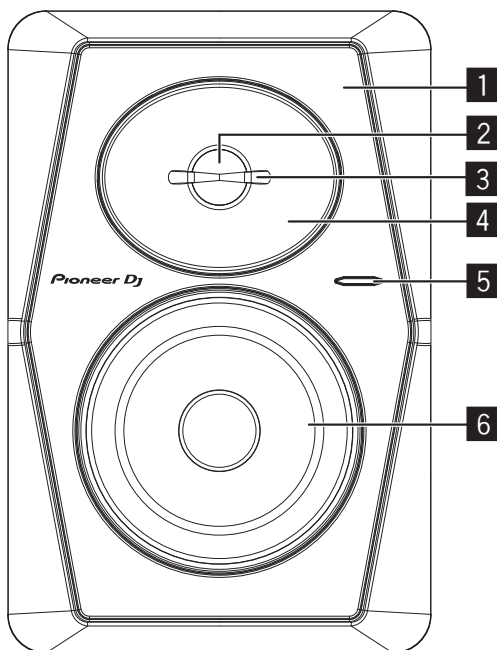
- ・ レスポンスの速い豊かな低音を実現する「ボルテックスバスアクセラレーター」構造。
- ・ 中高域のパワフル感と広い均一なリスニング空間を実現する定指向性ホーン。
- ・ 不要な振動を抑制するリジッドなアルミニウム製フロントバッフル。
- ・ 広い帯域の音楽再生が可能な 96 kHz サンプルングのクラス D アンプを搭載。
- ・ 用途、部屋の音響特性や好みに応じて 16 通りに調整できる「DSP CONTROL」。

付属品を確認する

- ・ 電源コード × 1
- ・ ボトムクッション × 1 (4 個 / 1 枚)
- ・ 使用上のご注意 × 1
- ・ 取扱説明書 (本書)
- ・ 日本国内用保証書 (本書裏表紙に記載)

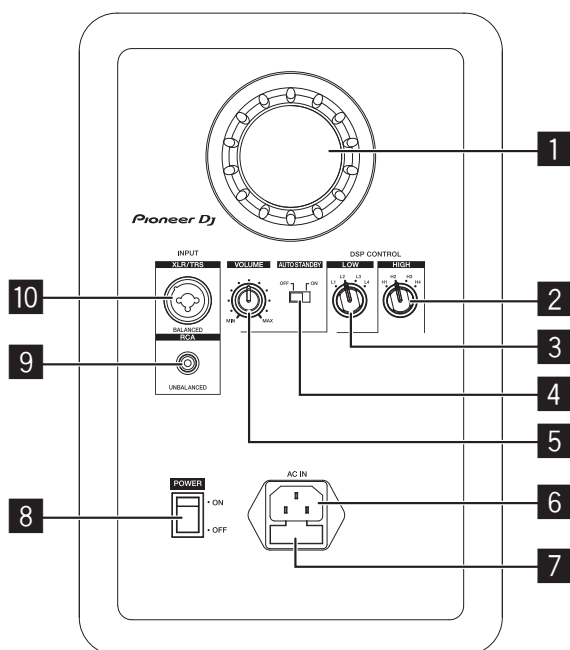
各部の名称と機能

本体前面部



- 1 アルミニウム製フロントバッフル**
不要な振動を抑制します。
- 2 1 インチ高解像度ソフトドームツイーター**
- 3 ツイーター保護ガード**
- 4 定指向性ホーン**
均一なリスニング空間を実現します。
- 5 POWER/STANDBY インジケーター**
電源のオン / オフに連動して白色に点灯します。スタンバイ時は赤色に点灯します。
- 6 アラミドファイバーウーファー**
軽量かつ高剛性なアラミド繊維を振動板に採用し、ハイレスポンスなサウンドを実現します。

本体背面部



1 バスレフダクト

「ボルテックスバスアクセラレーター」構造でハイスピード重低音再生を実現します。

2 HIGH EQ 切り替えスイッチ

ROOM 1、FLAT、ROOM 2、BRIGHT TREBLE の4種類のEQ設定に切り換えができます。詳しくは4ページの「DSP CONTROL」をご覧ください。

3 LOW EQ 切り替えスイッチ

ROOM 1、FLAT、ROOM 2、CLUB BASS の4種類のEQ設定に切り換えができます。詳しくは4ページの「DSP CONTROL」をご覧ください。

4 AUTO STANDBY スイッチ

オートスタンバイ機能をオン/オフできます。オートスタンバイ機能をオンにすると、一定時間(約20分)入力信号がないと自動的にスタンバイ状態になり、消費電力を減らすことができます。また、スタンバイ状態で入力信号が入ると自動的に電源オン状態になります。

- ・スタンバイ状態になると、本体前面部のPOWERインジケータは赤色に点灯します。
- ・入力信号のレベルが一定よりも低いときは、自動的にスタンバイ状態から復帰しない場合があります。その場合は[AUTO STANDBY]スイッチをオフにしてご使用ください。
- ・スタンバイ状態から強制的に復帰させたい場合は、本体背面部の[POWER]スイッチを一旦オフにして、数秒後にオンにしてください。

5 VOLUME ツマミ

音量を調整します。

6 AC IN

電源コードを接続してコンセントに接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。必ず付属の電源コードをご使用ください。

7 ヒューズホルダー

8 POWER スイッチ

本機の電源をオン/オフします。

9 RCA INPUT 端子

RCA ピンタイプのアンバランス型入力端子です。

10 XLR/TRS INPUT 端子

XLR 端子(バランス)と1/4" TRS (バランス型 PHONO)の両タイプに対応しています。XLRの端子配列は1番グラウンド、2番ホット、3番コールドです。



注意

製品の仕様により、本体部やリモコン(付属の場合)のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

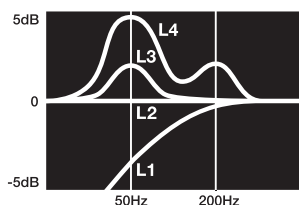
DSP CONTROL

本機は設置される場所や環境に合わせて周波数特性を調整する機能を持っています。リアパネルにある2つのツマミの組み合わせで調整を行います。工場出荷時は無響室でフラットな特性が得られる状態になっていますので、設置される環境に合わせて調整を行ってください。

LOW EQ

設置場所や利用目的に応じて、低音を調整するために使用します。

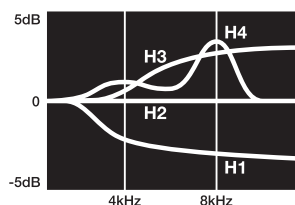
- L1: ROOM 1
低音を抑えた音質です。壁などの近くに設置し低音が多すぎる場合や、深夜に低音を響かせたくない場合に効果的です。
- L2: FLAT
入力音を忠実に再生するフラットな周波数特性です。
- L3: ROOM 2
低音が多めの音質です。部屋の響きが少なく、低音が足りない場合に効果的です。
- L4: CLUB BASS
CLUBのパンチの効いた低音を再生します。低音が足りない場合にも効果的です。



HIGH EQ

設置場所や利用目的に応じて、高音を調整するために使用します。

- H1: ROOM 1
高音をやや抑えた音質です。部屋がライブで高音が多すぎる場合に使用すると効果的です。
- H2: FLAT
入力音を忠実に再生するフラットな周波数特性です。
- H3: ROOM 2
高音が多めで、明るく広い空間イメージの音です。高音が足りない場合に使用すると効果的です。
- H4: BRIGHT TREBLE
楽器の音がクリアに聞こえます。例えばギターやシンバル、トランペットなどの音の輪郭がはっきりします。

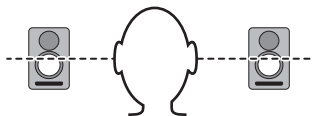


設置と接続

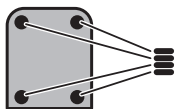
設置方法

スピーカーの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙な影響を受けやすいものです。最適な状態でご使用いただくために、スピーカーを取り付ける前に設置場所を十分検討してください。

- スピーカーは耳の高さに設置してください。

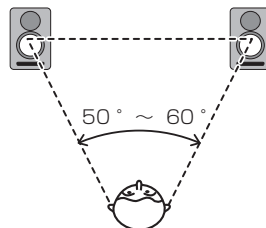


- 左右のスピーカーは、視聴位置に対して等距離で左右対称になるように設置すると自然なステレオ感が得られます。
- すべり防止のため、付属のクッションを本体の底面に貼ってください。



幼児の手の届くところに小さな部品を置かない。
万一飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

- スピーカーは視聴位置から左右に30°、計60°の開き角となる位置に設置し、内側に向けてください。



注意

本機を設置する場合は、放熱を良くするため他の機器や壁などから十分な間隔をとってください(天面15 cm以上、後面15 cm以上、右側、左側各15 cm以上)。本機と壁および他の機器との間隔がとれないと、内部に熱がこもり、性能不良や故障の原因になります。

接続する

- 機器の接続を行う場合、または変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
- 必ず付属の電源コードをご使用ください。
- XLR (またはTRS) INPUT端子とRCA INPUT端子への入力信号はミックスされますので、音量にご注意ください。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、5 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて5 秒以上たってから差し込み直すことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。
接続している機器の音がでない、または音が小さい。	接続している機器は正しく設定されていますか？	機器の外部入力や音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	音量が正しい位置に設定されていますか？	本体背面部の [VOLUME] ツマミを右に回して、音量を上げてください。
	電源がオンになっていますか？	本体背面部の [POWER] スイッチをオンにしてください。
POWER インジケーター（白色）が点灯しない。	オートスタンバイ機能がオンになっていませんか？	本体背面部の [POWER] スイッチを一旦オフにして、数秒後にオンにしてください。
	電源がオンになっていますか？	本体背面部の [POWER] スイッチをオンにしてください。
スタンバイ状態から復帰（電源オン）しない。	オートスタンバイ機能がオンになっていませんか？	本体背面部の [POWER] スイッチを一旦オフにして、数秒後にオンにしてください。
	入力信号のレベルが低くありませんか？	入力信号のレベルを大きくしてください。
音が歪む。	本体背面部の [AUTO STANDBY] スイッチをオフにして、オートスタンバイ機能をオフにしてください。	本体背面部の [VOLUME] ツマミを左に回して、音量を下げてください。
	音量が正しい位置に設定されていますか？	接続している機器の出力レベルを正しく調整してください。
発振（大きな音が連続的に出る）する。	接続している機器からの出力レベルは適切ですか？	本体背面部の [VOLUME] ツマミを左に回して、音量を下げてください。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（製品に付属の取扱説明書裏表紙に記載）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 5 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない

いときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
 - お名前
 - お電話番号
 - 製品名：アクティブモニタースピーカー
 - 型番：VM-50/VM-50-W/VM-70/VM-80
 - お買い上げ日
 - 故障または異常の内容
- 「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- 「Pioneer DJ」は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

仕様

	VM-50/VM-50-W	VM-70	VM-80
形式	バイアンプ2ウェイアクティブスピーカー		
アンプ部			
アンプタイプ	DSP 搭載 Class D		
LF アンプ	30 W (4 Ω)	70 W (4 Ω)	90 W (4 Ω)
HF アンプ	30 W (4 Ω)	30 W (4 Ω)	30 W (4 Ω)
入力端子 (バランス入力)	XLR/TRS コンボ × 1		
入力端子 (アンバランス入力)	RCA × 1		
入力インピーダンス	10 k Ω		
スピーカー部			
エンクロージャー	バスレフ型		
エンクロージャー材質	MDF ビニールラミネート		
ウーファー (LF ドライバー)	5.25 インチ (133 mm) コーン	6.5 インチ (165 mm) コーン	8 インチ (203 mm) コーン
ツイーター (HF ドライバー)	1 インチ (25 mm) ソフトドーム		
再生周波数帯域	40 Hz ～ 36 kHz	37 Hz ～ 36 kHz	34 Hz ～ 36 kHz
電源部・その他			
対応電圧	AC 100 V、50 Hz/60 Hz		
消費電力	30 W	45 W	60 W
待機時消費電力 (スタンバイ状態)	0.3 W		
パワーオフモード時の消費電力	0.1 W		
外径寸法 (W × H × D)	198 × 300 × 265 mm	229 × 341 × 312 mm	267 × 400 × 325 mm
質量	5.5 kg	7.7 kg	9.7 kg

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ご相談窓口（製品取扱い・修理・部品のご購入）

【固定電話から】

0120－545－676 （無料）

【携帯電話・IP電話から】

050－2018－6565 （有料）

注：番号をよくお確かめの上で、おかけいただきますようお願いいたします。

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからはご利用になれません。

「050」で始まる電話番号は、携帯電話・IP電話などからご利用可能ですが通話料がかかります。

【受付時間について】

相談窓口の受付時間は以下のホームページにてご確認をお願いいたします。

右のQRコードからもアクセスできます。

<https://www.pioneerdj.com/ja-jp/support/contact/japan/>



【受付内容について】

商品に関するお問い合わせ：

商品の機能や取り扱い、故障かどうかのご相談

修理のご依頼：

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は

①型名②ご購入日③故障症状を具体的にご連絡ください。

部品ご購入：

付属品、及びお客様がご自身で交換可能な部品をご購入いただけます。

AlphaTheta Corporation

6F, Yokohama i-Mark Place, 4-4-5 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama, Kanagawa 220-0012 JAPAN / JAPON

AlphaTheta株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号 横浜アイマークプレイス6階